

指定管理者に関するモニタリングシート

黄色のセルを施設担当課が記入

1 施設の概要

(モニタリング実施年度: 平成 29 年度)

施設の名称	東大阪市立野外活動センター 「自由の森なるかわ」	指定期間	29 年度～	33 年度		
		指定の方法	単体施設を指定管理			
施設所管課	社会教育部 社会教育センター	連絡先	06-6789-4100			
設置目的	自然の中での野外活動を通じて、市民の自然保護意識の醸成及び青少年の健全育成を図るとともに、市民が充実した余暇を過ごすことができるようにするため					
施設内容・業務内容等	野外活動に係る指導、相談、指導者の養成及び研修。自然環境に係る学習の機会を提供。野外活動の普及及び奨励。施設の維持管理、使用の許可及び使用の許可の取消し、入場の制限等					
指定管理者	一般財団法人大阪府青少年活動財団	連絡先	06-6561-7676			
人員体制	正規職員	3 人	パート・アルバイト	人	その他	2 人

2 管理運営状況等

年度	実績			今年度(予算)	次年度(見込)
	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
管理形態	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理
供用(開館)日数	318	319	319	316(予定)	316(予定)
指定管理委託料(千円)	42,715	43,173	43,173	43,173	43,173
利用状況	1 例:年間利用者数(人)	10,951	11,552	10,695	補足説明
	2 例:利用登録団体数(団体)				補足説明
	3 例:スポーツ教室参加者数(人)				補足説明

3 モニタリングの総括

「個別評価」(自動表示): S=チェック項目が全てO、A=×がなく「得点」が中間点以上、
 B=×がなく中間点未満あるいは×が1個で「得点」が中間点以上、C=×が2個以上。
 「最終評価」(任意決定): 個別の評価結果を踏まえて、評価者の裁量で決定する。

モニタリングの観点	施設担当課のモニタリング	
	個別評価 S A B C	評価できる点や要改善事項
A 行政視点 施設の設置目的が達成でき、事業の継続性が期待されるとともに、市民の安全の確保が図られているか？	S	協定書、事業計画書どおり事業が進められている。指定管理者が育成に取り組んでいるキャンプリーダーの経験者が、本市で多数教員になっており、「自然の中での野外活動を通じて、市民の自然保護意識の醸成及び青少年の健全育成をはかるとともに、市民が充実した余暇を過ごすことができるようにする」という野外活動センターの設置目的が達成されていると評価する。
B 管理・運営能力 人員・予算等の資源を管理し、快適に施設や設備等を利用できる環境を整備しているか？	S	人員・予算を効率よく使って事業を進められていると評価する。ナラ枯れによる枯木が増加し、落枝などが多く見られる中で、市民が安心して安全に利用できるように、伐採作業を計画的に進めている。また、老朽化した設備について、できる限り指定管理者が自ら修理するようにし、快適に利用できるよう環境整備を行っている点も評価する。
C サービス 平等な利用の確保及びサービス向上が図られているか？	A	ホームページにて、予約状況・空き状況が迅速に更新されており、平等な利用の確保につながっている。また、職員やボランティアリーダーに対し、計画的に研修を実施するとともに、OJTを実施し職員のレベルアップに努め、サービスの向上を図っている。
D 市民視点 市民の声が反映される管理・運営が行われているか？	A	利用者アンケートやホームページに寄せられた意見等を分析した上で、職員間で共通の問題意識を持ち、会議を重ね、改善方策が講じられている。その結果、高いリピート率と満足度の水準を維持し、ここ数年安定して年間利用者1万人を達成している。 アンケート結果等の公開について、引き続き検討の必要がある。
E 効果・効率性 施設の効果を最大限発揮しようとするとともに、管理経費の縮減が図られているか？	A	一般市民参画の事業運営は現在ないが、学生ボランティアリーダーの受け入れを継続して実施しており、教職員初任者研修や専門学校・大学のインターンシップも受け付けする等、幅広い目的・用途で活用することにより、この施設が持つ魅力を活かし、大きな効果を発揮するよう努めていると評価する。今後も幅広い年齢層に参加してもらえるような事業展開を模索していく必要がある。
F 法令等遵守 法令や各種規則等を理解し、遵守することで、社会的責任を果たしているか？	A	労働管理や個人情報取り扱いについては前回に引き続き法律遵守し、問題ない。また、残飯等のごみをコンポスターで処理するなど環境への配慮に取り組む、その社会的責任を十分果たしていると評価する。 情報公開については、今後も実施について検討が必要である。
課題への対応 今後の取組	最終評価 (任意設定) A	市民視点に立った運営を行っていくためには、アンケート結果等の公開について、今後積極的に取り組んでいく必要がある。幅広い年齢層を事業等に取り込み、利用者数の増加につなげていくことも必要である。 また、継続して殆どの判断基準を満たしており、評価できる。今後も、まだ基準を満たしていない課題に対して、積極的に取り組んでいく。